

第3号議案

2024年度向け調整力の公募にかかる必要量等について

2024年度向け調整力を公募する予定の沖縄エリアが調整力を公募するにあたっての必要量等について、調整力及び需給バランス評価等に関する委員会における議論を踏まえ、以下のとおりに決定し、別紙1により沖縄電力株式会社に通知するとともに、別紙2により公表する。

1. 電源Ⅰ必要量

電源Ⅰ = 最大発電機出力118MWを前提としたLOLP0.3日/月に相当する必要予備率15%
=203MW

電源Ⅰ-a (GF機能) = 49MW

※1：常時GF4台運転と整合させ、GF4台運転時のGF量相当とする。

電源Ⅰ-a (LFC機能) = 30MW

※2：時間内変動(LFC対応分)と30分内残余需要予測誤差の不等時性を考慮した合成値をもとに算出した必要量(必要最低限の必要量)。

電源Ⅰ-b = 124MW

※3：電源Ⅰ必要量203MWから電源Ⅰ-a(79MW)を差引いた、124MWを電源Ⅰ-bとする。

2. 電源Ⅰ'必要量

電源Ⅰ' = 最大3日平均電力×4.2%

※4：「最大3日平均電力」の定義は当機関の需要想定要領によるものとし、上式においては2023年度供給計画の第2年度における想定需要とすることを原則とする。

※5：2024年度供給計画の第1年度における想定需要が著しく増加する場合、最大3日平均電力を2024年度供給計画の第1年度における想定需要に置き換える。

※6：次年度に電源Ⅰまたは電源Ⅱとして契約される蓋然性の高い電源において、火力電源の過負荷運転等による増出力運転分が期待できる場合においては、電源Ⅰ'の募集量から控除できる。

以上

【添付資料】

別紙1：沖縄電力への通知文書

別紙2：公表文案